

小児科

(1) スタッフの紹介、資格

2024年4月1日に安心院蔵史、上野薫、杉原健介、滝本勇至、土井修平、野々原洋輔、宮里茉樹が着任、2025年3月31日に渡辺健、兵頭勇紀、酒井達紘、礪部葵、坂口大典、高田尚志、中川隆太郎、松村誠紀、三浦嵩徳、藤田耕世が退職、4月1日に佐藤一寿、久米英太郎、國分杏奈、秋山蒼、北岡建吾、田中和音、田畑治希、山崎郁夫、片井悠太が着任し、現在の体制に至っている。

病院長

秦 大資： 日本小児科学会認定専門医・指導医、日本小児科学会代議員、
日本アレルギー学会認定専門医・指導医、
日本小児アレルギー学会評議員、京都大学臨床教授

小児科 主任部長

塩田光隆： 日本小児科学会認定専門医・指導医、
日本血液学会認定血液専門医・指導医
日本小児血液・がん学会指導医、
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

新生児部門 主任部長

水本 洋： 日本小児科学会認定専門医・指導医
日本NCPR(新生児蘇生法) コアインストラクター
日本周産期新生児医学会認定周産期（新生児）専門医・指導医
日本周産期新生児医学会B（小児科）領域評議員
京都大学小児科学教室非常勤講師

感染症部門部長

羽田敦子： 日本小児科学会認定専門医・指導医、日本感染症学会評議員、
ICD(infection control doctor)、日本感染症学会感染症専門医・指導医、
抗菌化学療法指導医、日本小児感染症学会認定医・暫定指導医、
日本夜尿症学会理事、日本小児科医会子どもの心相談医

副部長 吉岡孝和： 日本小児科学会認定専門医・指導医、日本アレルギー学会認定専門医
日本リウマチ学会認定専門医

副部長 熊倉 啓： 日本小児科学会認定専門医・指導医、日本小児神経学会認定小児神経科専門医
日本てんかん学会認定てんかん専門医

副部長 中川権史： 日本小児科学会認定専門医・指導医、日本アレルギー学会認定専門医
日本リウマチ学会認定専門医

副部長 阿水利沙： 日本小児科学会認定専門医・指導医、
日本周産期新生児医学会認定周産期（新生児）専門医

副部長 三上真充： 日本小児科学会認定専門医・指導医
日本血液・がん学会認定血液専門医

副部長 高折 徹： 日本小児科学会認定専門医

副部長 大西健二： 日本小児科学会認定専門医

副部長 佐藤一寿： 日本小児科学会認定専門医

副部長 久米英太郎： 日本小児科学会認定専門医、認定内科医

レジデント 21 名： 後藤直人、中里亦思、中西隆哉、古川智偉、堀創馬、光吉康太、山本祐、
安心院蔵史、上野薫、杉原健介、滝本勇至、土井修平、野々原洋輔、宮里茉樹、
國分杏奈、秋山蒼、北岡建吾、田中和音、田畑治希、山崎郁夫、片井悠太
（うち 2～4 名は他病院へ異動、研修中）

(2) 診療体制

午前に一般外来、午後に各種専門外来、乳児検診、予防接種外来を行なっている。アレルギー外来を火曜日に中川、水曜日に吉岡、金曜日に秦が担当し、循環器外来（火）、胎児心臓エコー外来（火）を渡辺（非常勤医）、循環器外来（月曜日・金曜日）を交代医師、腎臓・夜尿外来（水）を羽田、血液外来を月曜日に塩田、水曜日に三上、新生児外来を木曜日に水本、金曜日に阿水、神経外来を月曜日・火曜日に高折、木曜日・金曜日に熊倉、内分泌・代謝外来を月曜日に河井（非常勤医）、木曜日に山下（非常勤医）が担当している。

2024 年度の外来患者数、時間外受診患者数、救急搬送患者数、入院患者数、平均在院日数、疾患別入院患者数、主たる疾患別平均在院日数は以下の表の通りである。2024 年度の入院患者実数 3742 名（対前年比 432 名増、13%増）、外来のべ患者数 34525 名（対前年比 2223 名増、6.4%増）であった。

(3) 教育

当科は日本小児科学会認定小児専門医研修施設、日本小児科学会認定小児専門医研修支援施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本小児血液・がん学会認定小児血液・がん専門医研修施設、日本周産期・新生児医学会指定研修施設、日本小児神経学会認定小児神経専門医研修施設、日本小児循環器学会認定修練施設として認定されており、2017 年度からは小児科専門研修基幹病院に認定され小児科各領域

専門医が研修医の教育を行なっている。

《定期的教育活動》

主任部長 秦 大資 京都大学医学部小児科臨床教授
未熟児・新生児部門部長 水本 洋 京都大学医学部小児科非常勤講師

《院内勉強会》

小児科産婦人科合同カンファレンス 月1回
小児科医師看護師合同カンファレンス 月1回

(4) 著作・学会・発表その他の研究活動

【論文発表】

「原著」

1. Tanno D, Saito K, Tomii Y, Nakatsuka Y, Uechi K, Ohashi K, Hidaka T, Yamadera Y, Hata A, Toyokawa M, Shimura H*. A Multicenter Study on the Utility of Selective Enrichment Broth for Detection of Group B Streptococcus in Pregnant Women in Japan Jpn J Infect Dis. 77(2):68-74. 2024 Mar 21 doi: 10.7883/yoken. JJID.2023.295. Epub 2023 Oct 31. (査読あり)
2. Kobayashi K, Hata A, Imoto W, Kakuno S, Shibata W, Yamada K, Kawaguchi H, Sakurai N, Ito T, Uenoyama K, Takahashi T, Ueda S, Katayama T, Onoue M, Takeya H*. Evaluation of predictors of third-generation cephalosporin non-susceptibility and factors affecting recurrence or death in bacteremia caused by *Citrobacter freundii* complex, *Enterobacter cloacae* complex, and *Klebsiella aerogenes* J Chemother. 2024 Mar 7:1-11. doi: 10.1080/1120009X.2024.2323326. Online ahead of print. (査読あり)
3. Tanno D, Saito K, Tomii Y, Nakatsuka Y, Uechi K, Ohashi K, Yamadera Y, Hata A, Toyokawa M, Shimura H*. Validation of a modified enrichment broth for efficient screening of group B Streptococcus in pregnant women J Microbiol Immunol Infect. 2024 Aug 3: S1684-1182(24)00126-9. doi: 10.1016/j.jmii.2024.07.015.
4. Tomomasa D, Tanita K, Hiruma Y, Hoshino A, Kudo K, Azumi S, Shiota M, Yamaoka M, Eguchi K, Ishimura M, Tanaka Y, Iwatsuki K, Okuno K, Hama A, Sakamoto KI, Taga T, Goto K, Ota H, Ichiki A, Kanda K, Miyamura T, Endo S, Ohnishi H, Sasahara Y, Arai A, Fornier B, Imadome KI, Morio T, Latour S, Kanegane H. Highly sensitive detection of Epstein-Barr virus-infected cells by EBER flow FISH. Int J Hematol. 2024 Aug;120(2):241-251. (査読あり)

「総説」

1. 羽田敦子 おねしょ・おもらしは必ずよくなる 4000 家族を救った夜尿症診療の実際(解説)
愛媛県小児科医会雑誌 5 巻 1 号 Page47-50(2024. 08) (査読なし)
2. 水本洋 これでわかる新生児呼吸管理 2024 呼吸管理の実際 ガス酸素療法 周産期医学
54 巻 6 号 p559-661 2024 年 (査読なし)

「症例報告」

1. Nagata T, Nakagawa K*, Tsurumi F, Watanabe K, Endo T, Hata A. A case of novel NFKB2 variant with hypertensive emergency and nephrotic syndrome leading to CKD 5D. *Pediatr Nephrol.* 2024 Sep;39(9):2637-2640. doi: 10.1007/s00467-024-06334-4. Epub 2024 Apr 8. (査読あり)
2. 坂口大典, 三上真充, 酒井達紘, 藤尾光, 秦大資, 石前峰斉, 江口真理子, 塩田光隆* NUTM1 融合遺伝子を有した乳児急性リンパ性白血病の一例 日本小児血液・がん学会雑誌 61 巻 1 Page80-85 (査読あり)
3. 藤尾光, 熊倉啓, 高田尚志, 塚原堯, 梶本智史, 兵頭勇紀, 秦大資, 塩田光隆* 舌咽神経麻痺による構音障害・嚥下困難が先行したギラン・バレー症候群の 11 歳男児例 小児科臨床 2023/4/7 受理 (査読あり)
4. 金奏希, 三上真充, 辰巳正樹, 三輪将大, 塩田光隆* クラリスロマイシンによる薬物性肝障害が疑われた一例小児科臨床 2024; 77(4): 613-618. (査読有り)
5. 三原勇太郎, 阿水利沙, 草野弘宣, 水本洋 伝子診断で診断に至った新生児期発症 Niemann-Pick 病 C 型の 1 例 診断病理 42 巻 1 号 p58-64 2025 年 (査読あり)
6. 三浦崇徳, 水本洋, 阿水利沙* 迅速網羅遺伝子解析により診断した ACTG2 Viscer al myopathy の 1 例 日本周産期新生児医学会雑誌 In press (査読あり)
7. 新田優紀子, 田中かおり, 久保優佳, 山口かおり, 羽田敦子 看護師による D y s f u n c t i o n a l V o i d i n g S y m p t o m S c o r e (DVSS) を用いた非単一症候性夜尿症への適切なウロセラピー実施の検討 夜尿症研究(1342-1735)29 巻 Page53-58(2024. 11) (査読あり)

【著書】

1. 水本洋 新生児の非侵襲モニタリング 今日の治療指針 私はこう治療している 2024 年版 1419 ページ
医学書院

【学会発表】

1. 山形雄伸、水本洋、阿水利沙、佐藤正人、遠藤耕介、岩出珠幾、園田真理、金奏希、三浦高德、塩田光隆 ACTG2 visceral myopathy と診断した男児 第127回日本小児科学会学術集会 2024年4月19日 福岡県（口頭）
2. 高田尚志、羽田敦子、中川権史、塩田光隆、秦大資 難治性夜尿症に対する当院でのビベグロン（ベオーバ）使用成績の後方視的研究 第127回日本小児科学会学術集会 2024年4月19-21日 福岡県（口演）
3. 木村茉樹、三上真充、藤田耕世、中西隆哉、三輪将大、塚原堯、塩田光隆 手足口病で入院し、骨髄悪性腫瘍傾向を伴う家族性血小板減少症が判明した男児 第127回日本小児科学会学術集会 2024年4月19-21日 福岡県（口演）
4. 古川智偉、梶本智史、兵頭勇紀、高折徹、熊倉啓、吉田健司、柏木大誓、矢野直子、張春花、塩田光隆 乳児てんかんスパズム症候群を発症したアデニロコハク酸リアーゼ欠損症の1例 第66回小児神経学会 2024年5月30日-6月1日 愛知県（ポスター）
5. 後藤直人、鶴見文俊、渡辺健、加藤愛章、坂口平馬 Cine MRIにより気管軟化症と診断した2例 第60回日本小児循環器学会総会・学術集会 2024年7月11-13日 福岡県（ポスター）
6. 山本祐、鶴見文俊、渡辺健 川崎病症例における心臓超音波検査と冠動脈造影での冠動脈径との比較検討 第60回日本小児循環器学会総会・学術集会 2024年7月11日 福岡県（ポスター）
7. 堀創馬、鶴見文俊、渡辺健 胎児心臓超音波検査から見る双胎児心疾患発症リスク 第60回日本小児循環器学会総会・学術集会 2024年7月11日 福岡県（ポスター）
8. 高田尚志、鶴見文俊、横山忠史、和田泰三、渡辺健 4th lineまで導入し管理に難渋したが、冠動脈病変の形成を回避できたくすぶり型川崎病の2歳女児例 第60回日本小児循環器学会総会・学術集会 2024年7月12日 福岡県（ポスター）
9. 三輪将大、鶴見文俊、渡辺健、廣野恵一 一過性の心筋壁肥厚をきたすも、改善した2例 第60回日本小児循環器学会総会・学術集会 2024年7月13日 福岡県（ポスター）
10. 坂口大典、塚原堯、阿水利沙、水本洋 帝王切開出生にも関わらず帽状腱膜下出血・DICを発症した26週早産児 第60回日本周産期・新生児医学会学術集会 2024年7月13日 大阪府（ポスター）
11. 水本洋 最後の手段ではない 新生児蘇生の様々な場面で役に立つSGA 第60回日本周産期・新生児医学会学術集会 2024年7月13日 大阪府（口演）
12. 高田尚志、羽田敦子、塩田光隆 当院における難治性夜尿症に対するビベグロン投与3か月での臨床成績

第35回日本夜尿症・尿失禁学会学術集会 2024年7月27-28日 東京都（口演）

13. 新田優紀子、田中かおり、山口かおり、久保由佳、羽田敦子 看護師によるDVSS カテゴリー分類表を用いた非単一症候性夜尿症児・保護者へのウロセラピー標準化の検討 第35回日本夜尿症・尿失禁学会学術集会 2024年7月27-28日 東京都（口演）

14. 後藤直人、高折徹、土井脩平、宮里茉樹、中里亦思、山本祐、三浦崇徳、松村誠紀、高田尚志、酒井達紘、大西健仁、兵頭勇紀、熊倉啓、塩田光隆 無呼吸を繰り返した精神運動発達遅滞の3か月女児 第6回京都小児臨床懇話会 2024年9月1日 京都府（ハイブリッド）

15. 吉岡孝和 「たまごが先か、〇〇が先か 食物アレルギーとアトピー性皮膚炎の関連」 地域で取り組むアトピー性皮膚炎治療～小児科皮膚科合同カンファレンス～ 2024年9月20日 大阪府（口演）

16. 後藤直人、高折徹、土井脩平、宮里茉樹、中里亦思、山本祐、三浦崇徳、松村誠紀、高田尚志、酒井達紘、大西健仁、兵頭勇紀、熊倉啓、塩田光隆 無呼吸と精神運動発達遅滞の精査で診断したMTHFR欠損症の早期乳児発症例 第37回北野小児科学術講演会 2024年11月2日 大阪府（ポスター）

17. 野々原洋輔 紫斑病性腎炎からネフローゼ症候群を来し、尿蛋白が遷延した2歳男児 第37回北野小児科学術講演会 2024年11月2日 大阪府（口演）

18. 土井脩平、鶴見文俊、後藤直人、中川隆太郎、中川権史、塩田光隆 シクロスポリンが著効したIL-3Ra欠損症（汎発性膿疱性乾癬）の乳児例 第37回北野小児科学術講演会 2024年11月2日 大阪府

19. 安心院蔵吏、三上真充、秋山蒼、堀創馬、山本祐、松村誠紀、塩田光隆 Kabuki 症候群に合併した難治性自己免疫性血球減少に対するリツキシマブ使用経験 第37回北野小児科学術講演会 2024年11月2日 大阪府

20. 成宮牧子、澤田優子、本田憲胤、水本洋、阿水利沙 新型コロナウイルス感染症前後に出生した極低出生体重児における修正一歳半までの発達の比較 第68回日本新生児成育医学会学術集会 2024年11月8日 長野県（ポスター）

21. 秋山蒼、水本洋、阿水利沙 消化管出血を合併しH.pylori感染と判明した重症心身障害児3例 第68回日本新生児成育医学会学術集会 2024年11月8日 長野県（ポスター）

22. 坂口大典、阿水利沙、水本洋 ジアゾキシドで治療した一過性高インスリン血症の11症例の検討 第68回日本新生児成育医学会学術集会 2024年11月8日 長野県（ポスター）

23. 上田覚、高橋有、小林和博、羽田敦子 テイコプラニンによるレッドマン症候群が疑われた1例 第72回日本化学療法学会西日本支部総会・第93回日本感染症学会西日本地方会学術集会 合同学会 2024年11月15日 兵庫県神戸市（ポスター）

24. 嶋田有紗、高橋有、小林和博、上田覚、中島俊樹、井上大生、丸毛聡、羽田敦子 急性腎障害を契機に発症したCFPM脳症の一例 第94回日本感染症学会西日本地方会学術集会 2024年11月15日 兵庫県神戸市（口演）

25. 宮澤真理、羽田敦子、大西健仁、吉岡孝和、塩田光隆 当院にてコロナ禍以降の4年間で入院を要したRSウイルス感染症の臨床的検討 酸素・人工呼吸器使用の臨床的特徴 第56回日本小児感染症学会総会・学術集会 2024年11月17日 長崎県（口演）

26. 田中和音、羽田敦子、大西健仁、土井脩平、後藤直人、松村誠紀、酒井達紘、中川権史、吉岡孝和、塩田光隆 菌血症、細菌性髄膜炎、硬膜下膿瘍、感染性心内膜炎合併の侵襲性肺炎球菌感染症(IPD)を発症した無脾症または脾臓低形成幼児の1例 第56回日本小児感染症学会総会・学術集会 2024年11月17日 長崎県（口演）

27. 秋山蒼、羽田敦子、大西健二、吉岡孝和、塩田光隆 当施設における小児菌血症患者と肺炎球菌菌血症患者の検討 第56回日本小児感染症学会総会・学術集会 2024年11月17日 長崎県（口演）

28. 阪上陽菜、羽田敦子、大西健仁、磯部葵、松村誠紀、中里亦思、上野薫、吉岡孝和、塩田光隆 肺炎球菌菌血症に感染後糸球体腎炎を併発した一例 第56回日本小児感染症学会総会・学術集会 2024年11月17日 長崎県（口演）

29. 田中和音、三上真充、津賀陸、安心院蔵吏、堀創馬、山本祐、松村誠紀、東尾篤史、園田真理、遠藤耕介、福澤宏明、佐藤正人、塩田光隆 偶発的に診断された両側性副腎神経芽腫の乳児例 第66回日本小児血液・がん学会学術集会 2024年12月13-15日 京都府（ポスター）

30. 秋山蒼、三上真充、酒井達紘、安心院蔵吏、藤田耕世、武部軌良、塩田光隆 片頭痛と診断され、乏突起膠腫と膠芽腫の鑑別を要した右前頭葉腫瘍の1例 第66回日本小児血液・がん学会学術集会 2024年12月14日 京都府（ポスター）

31. 安心院蔵吏、三上真充、堀相馬、山本祐、松村誠紀、酒井達紘、水本洋、塩田光隆 免疫グロブリン療法不応の特発性血小板減少性紫斑病に対してエルトロンボパグ治療が奏功した13trisomyの1例 第66回日本小児血液・がん学会学術集会 2024年12月14日 京都府（口演）

32. 宮里茉樹、三上真充、田中和音、野々原洋輔、藤田耕世 中西隆哉、三浦崇徳、笹原洋二、山森彩子、村松秀城、要匡、塩田光隆 先天性血小板減少症と診断されT細胞性急性リンパ性白血病を発症した8歳男児の一例 第66回日本小児血液・がん学会学術集会 2024年12月13-15日 京都府（口演）

33. 阪上陽菜、三上真充、後藤直人、中里亦思、光吉康太、山本祐、坂口大典、松村誠紀、三浦崇徳、酒井達紘、大西健二、兵頭勇紀、澤田健、高木雄久、塩田光隆 びまん性橋膠腫 (DIPG) に対し3回照射を実施した8歳女児 第66回日本小児血液・がん学会学術集 2024年12月13-15日 京都府 (ポスター)

34. 遠藤耕介、溝上優美、東尾篤史、園田真理、三上真充、塩田光隆、佐藤正人、福澤宏明 当科で経験した小児固形腫瘍に対する内視鏡手術症例についての後方視的検討 第66回日本小児血液・がん学会学術集 2024年12月13-15日 京都府 (ポスター)

35. 山本祐、渡辺健、宮里茉樹、野々原洋輔、後藤直人、堀創馬、鶴見文俊 当科における胎児診断された孤立性心室中隔欠損の胎内、出生時および生後の自然閉鎖 日本胎児心臓病学会第31回学術集会 2025年2月22-23日 広島県

36. 後藤直人、渡辺健、宮里茉樹、野々原洋輔、山本祐、堀創馬、鶴見文俊 当科における胎児診断された両大血管右室起始の全身疾患と予後 日本胎児心臓病学会第31回学術集会 2025年2月22-23日 広島県

37. 野々原洋輔、渡辺健、宮里茉樹、山本祐、後藤直人、堀創馬、鶴見文俊 胎児期に一過性の左肺低形成を呈した二例 日本胎児心臓病学会第31回学術集会 2025年2月22-23日 広島県

38. 宮里茉樹、渡辺健、野々原洋輔、山本祐、後藤直人、堀創馬、鶴見文俊 生後に重症肺動脈弁狭窄と判明した一絨毛膜二羊膜双胎・双胎間輸血症候群・胎児鏡下胎盤吻合血管レーザー凝固術後の受血児症例 日本胎児心臓病学会第31回学術集会 2025年2月22-23日 広島県

39. 野々原洋輔、中川権史、藤田耕世、高田尚志、羽田敦子、塩田光隆 紫斑病性腎炎からネフローゼ症候群を来し、尿蛋白が遷延した2歳男児の1例 第38回近畿小児科学会 2025年3月16日 大阪府 (口演)

40. 滝本勇至、大西健仁、野々原洋輔、山本祐、坂口大典、福澤宏明、文元方哉、塩田光隆 鈍的腎外傷後に腎仮性動脈瘤を続発し経カテーテル的動脈塞栓術を要した1例 第38回近畿小児科学会 2025年3月16日 大阪府 (口演)

41. 山本祐、渡辺健、宮里茉樹、野々原洋輔、後藤直人、堀創馬、鶴見文俊、塩田光隆、秦大資 当科で胎児期または生後に総肺静脈還流異常と診断された症例の胎児心エコー所見と予後 第38回近畿小児科学会 2025年3月16日 大阪府

42. 上野薫、兵頭勇紀、三浦崇徳、中里亦思、上田優貴子、原田博之、秦大資、塩田光隆 歯科処置後に急激に舌腫脹を来し、挿管管理を要した8歳男児例 第38回近畿小児科学会 2025年3月16日 大阪府

43. 大西健仁、光吉康太、高田尚志、中川権史、鶴見文俊、吉岡孝和、渡辺健、塩田光隆 咽後浮腫が診断の契機となった不全型川崎病の生後3ヶ月女児 第38回近畿小児科学会 2025年3月16日 大阪府

44. 藤田耕世、兵頭勇紀、安心院蔵吏、高田尚志、秦大資、塩田光隆 EBウイルス初感染に伴う急性小脳失調症を来し、ステロイドパルス療法を行った13歳女児例 第38回近畿小児科学会 2025年3月16日 大阪府(口演)

45. 藤井厚一郎、石岡梨紗子、山川康平、松原康平、福岡正隆、井上岳司、温井めぐみ、九鬼一郎、岡崎伸、高折徹 診断に時間を要するもオナセムノゲン アベパルボベクにて良好な治療経過を認めた脊髄性筋萎縮症の一例 第38回近畿小児科学会 2025年3月16日 大阪府(口演)

46. 安心院蔵吏、三上真充、秋山蒼、堀創馬、山本祐、松村誠紀、塩田光隆 Kabuki 症候群に合併した難治性自己免疫性血球減少に対するリツキシマブ使用経験 第38回近畿小児科学会 2025年3月16日 大阪府(口演)

47. 池田那祥、日衛嶋栄太郎、合田由香利、加藤健太郎、前田由可子、井澤和司、横山淳史、小川絵里、阿水利沙、滝田順子 ニーマンピック病C型に合併した難治性炎症性腸疾患の一例 第38回近畿小児科学会 2025年3月16日 大阪府(口演)

48. 礪部葵、山本祐、渡辺健、宮里茉樹、野々原洋輔、後藤直人、堀創馬、鶴見文俊、塩田光隆、秦大資 当科における胎児診断された複合性心室中隔欠損の胎内、出生時および生後の経過 第38回近畿小児科学会 2025年3月16日 大阪府(口演)

49. 宮里茉樹、渡辺健、野々原洋輔、後藤直人、山本祐、堀創馬、鶴見文俊、塩田光隆、秦大資 当科における胎児心エコーでみられた肺野空間占拠性病変の診断と予後 第38回近畿小児科学会 2025年3月16日 大阪府(口演)

50. 後藤直人、渡辺健、宮里茉樹、野々原洋輔、山本祐、堀創馬、鶴見文俊、塩田光隆、秦大資 当科における胎児心エコーが施行された心構造異常症例の全身疾患と予後 第38回近畿小児科学会 2025年3月16日 大阪府(口演)

(5) 院外活動、地域医療との関わり

1 秦 大資

大阪府国保支払い基金審査医

2 塩田光隆

第20回医学生・若手医師の為の小児科診療最前線 2024年6月29日(年1回)開催 座長

3 塩田光隆

第 37 回 北野小児科学術講演会 2024 年 11 月 2 日 (年 1 回) 開催 座長

4 水本洋

とことん新生児セミナー (チューター) 2024 年 9 月 7 日 (講師)

新生児成育医学会主催教育セミナー (講師) 2024 年 6 月 22 日 (Web)

日本周産期新生児医学会ハンズオンセミナー (講師) 2024 年 7 月 14 日

6 水本洋

NCPR インストラクター養成講習会

2024 年 5 月 12 日大阪大学

2024 年 10 月 6 日大阪大学

2024 年 11 月 24 日北野病院

7 水本洋

NCPR 出張講習会

2024 年 6 月 16 日 神田マタニティクリニック S コース

2024 年 9 月 24 日 大阪赤十字病院 igel 講習会

8 水本洋

NCPR 院内開催コース

2024 年 7 月 21 日 A コース

2024 年 8 月 29 日 S コース

2025 年 3 月 11 日 S コース

2025 年 3 月 12 日 S コース

2025 年 3 月 13 日 S コース

2025 年 3 月 23 日 A コース

9 水本洋

LEAVES 講演会

2024 年 7 月 7 日

(6) 小児科統計

*** 外来患者数（小児科）年報 ***

対象年月： 2024年4月～2025年3月

病院： 公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院

小児科	診療 実日数	合 計					1日平均 患者数	地域支援 紹介率	初 診（再 掲）			再 診（再 掲）			時間外 緊急入院
		合計	時間内	時間外	救急車での搬送 患者（再掲）				合計	時間内	時間外	合計	時間内	時間外	
4月	21.0	3,137	2,289	848	217	149	68.5%	759	207	552	2,224	2,082	142	154	
5月	21.0	3,152	2,227	925	217	150	52.9%	875	248	627	2,124	1,979	145	153	
6月	20.0	2,905	2,171	734	187	145	69.3%	680	204	476	2,098	1,967	131	127	
7月	22.0	3,358	2,510	848	255	153	67.8%	802	235	567	2,423	2,275	148	133	
8月	21.0	3,217	2,467	750	199	153	58.1%	711	224	487	2,345	2,243	102	161	
9月	19.0	2,806	2,120	686	154	148	75.9%	645	207	438	2,025	1,913	112	136	
10月	22.0	3,064	2,390	674	157	139	74.9%	652	235	417	2,270	2,155	115	142	
11月	20.0	2,705	2,048	657	145	135	76.0%	611	184	427	1,959	1,864	95	135	
12月	20.0	3,472	2,407	1,065	352	174	69.2%	970	246	724	2,324	2,161	163	178	
1月	19.0	2,991	2,159	832	207	157	63.7%	706	177	529	2,135	1,982	153	150	
2月	18.0	2,571	1,943	628	168	143	75.9%	521	148	373	1,905	1,795	110	145	
3月	20.0	3,370	2,583	787	203	169	69.7%	695	195	500	2,524	2,388	136	151	
合計	243.0	36,748	27,314	9,434	2,461			8,627	2,510	6,117	26,356	24,804	1,552	1,765	
平均	20.3	3,062	2,276	786	205	151	68.5%	719	209	510	2,196	2,067	129	147	

※合計欄の時間外とは、「時間外」「深夜」「休日」「時間外緊急入院」の合計値とする。

※紹介率＝紹介患者／初診患者－（救急車初診患者＋時間外等初診患者）＊100%

【救急患者内訳】

4月						5月					
時間内	時間外	休日	深夜	合計		時間内	時間外	休日	深夜	合計	
4月	182	350	246	297	1,075	10月	163	306	187	229	885
5月	201	324	342	301	1,168	11月	119	266	243	211	839
6月	159	337	210	237	943	12月	205	386	394	346	1,331
7月	178	360	250	287	1,075	1月	137	282	328	273	1,020
8月	159	323	201	265	948	2月	111	220	215	236	782
9月	133	263	263	205	864	3月	154	294	249	304	1,001
						合計	1,901	3,711	3,128	3,191	11,931
						平均	158.4	309.3	260.7	265.9	994.3

※初診（再掲）、再診（再掲）の「時間外」を「時間外」「休日」「深夜」、
及び時間内の救急患者を「時間内」にて再掲

*** 入院患者数（小児科）年報 ***

対象年月： 2024年4月～2025年3月

病院： 公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院

小児科	新入院患者数 時間外 緊急入院 （再掲）			退院患者数			入院実患 者数	入院 延日数	在院 延日数	平均 在院日数	一日平均 在院患者 数
	新入院	緊急入院	転入	退院	死亡	転出					
4月	280	154	0	264	0	2	280	1,890	1,626	6.0	54.20
5月	341	153	1	346	0	1	342	2,358	2,012	5.9	64.90
6月	288	127	1	293	1	3	289	1,951	1,657	5.7	55.23
7月	312	133	0	305	0	3	312	2,060	1,755	5.7	56.61
8月	306	161	0	305	0	8	306	1,931	1,626	5.3	52.45
9月	316	136	0	306	0	5	316	1,925	1,619	5.2	53.97
10月	318	142	1	318	0	9	319	1,976	1,658	5.2	53.48
11月	311	135	1	290	0	2	312	1,924	1,634	5.4	54.47
12月	364	178	2	365	0	4	366	2,454	2,089	5.7	67.39
1月	279	150	0	293	0	3	279	1,975	1,682	5.9	54.26
2月	298	145	1	293	0	0	299	1,813	1,520	5.1	54.29
3月	329	151	1	324	0	2	330	2,137	1,813	5.6	58.48
合計	3,742	1,765	8	3,702	1	42	3,750	24,394	20,691		
平均	312	147	1	309	0	4	313	2,033	1,724	5.6	56.53

※入院実患者数＝新入院患者数＋転入患者数

※入院実患者数には、繰越患者数を含めない。

(7) 疾患別入院患者数

2024 年度疾患別入院患者数			
総数 4070 名； 小児科 3743 名 (NICU 244 名を含む) + 小児外科 327 名			
●感染症	608	●NICU	244
A 群 β 溶連菌感染症	13	超低出生体重児 (～999 g)	4
COVID-19	27	極低出生体重児 (1000～1499 g)	13
EBウイルス伝染性単核症	5	低出生体重児 (1500～2499 g)	75
RSウイルス感染症	8	出生体重 2500g 以上	152
アデノウイルス感染症	34	(詳細は NICU 入院患者に別掲)	
インフルエンザ	134	●血液・腫瘍	99
ウイルス性中毒疹	1	Tリンパ芽球性リンパ腫	1
エンテロウイルス感染症	7	ウイルス関連血球貪食症候群	1
パラインフルエンザウイルス感染症	3	鞍上部胚細胞腫瘍	4
ヒトメタニューモウイルス感染症	3	一過性異常骨髄増殖症	1
ぶどう球菌性熱傷様皮膚症候群	1	肝腫瘍	1
ヘリコバクター・ピロリ感染症	1	血小板減少症	4
ヘルパンギーナ、手足口病、突発性発疹	69	後天性赤芽球ろう	1
マイコプラズマ感染症	3	再生不良性貧血	2
リウマチ熱	1	歯肉出血	1
下顎部膿瘍、顎下腺膿瘍	2	小児急性リンパ性白血病	12
下肢急性リンパ節炎	1	神経芽腫	12
下腿リンパ管炎	1	精巣腫瘍	1
急性上気道炎	72	前縦隔腫瘍	1
急性咽頭炎、扁桃炎	85	第4脳室上衣腫	6
急性化膿性リンパ節炎	5	胆のう腺筋腫症	1
急性化膿性耳下腺炎	4	鉄欠乏性貧血	2
急性中耳炎	26	特発性血小板減少性紫斑病	5
急性副鼻腔炎	1	乳児血管腫	33
細菌感染症	4	脳腫瘍	1
胸部ヘルペス	1	白血球減少症	1
頸部リンパ節炎	17	汎血球減少症	1
原発性ヘルペスウイルス性口内炎	1	皮下腫瘍	1
無菌性髄膜炎	12	副腎腫瘍	1
細菌性髄膜炎	4	毛様細胞性星細胞腫	1
歯性上顎洞炎	1	卵巣のう腫茎捻転	3
上腕骨骨髓炎	1	卵巣腫瘍	1

侵襲性肺炎球菌感染症	1			
水痘	1		●内分泌・代謝	97
帯状疱疹	2		1 型糖尿病	5
中心静脈カテーテル感染症	2		オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症	1
伝染性膿痂疹	8		ケトン血性嘔吐症	31
敗血症	13		ケトン性低血糖症	18
百日咳	4		バセドウ病	1
副鼻腔炎	4		ピルビン酸脱水素酵素複合体欠損症	1
蜂窩織炎	20		ホモシチン尿症 3 型	4
腋窩膿瘍	1		るいそう	1
扁桃周囲膿瘍、咽後膿瘍	4		下垂体機能低下症	2
			原発性副甲状腺機能亢進症	1
●消化器	524		抗利尿ホルモン不適合分泌症候群	1
アセトン血性嘔吐症・周期性嘔吐症候群	6		甲状腺機能低下症	3
イレウス	4		高インスリン血症	1
ウイルス性胃腸炎	230		高度肥満症	1
ヒルシュスプルング病類縁疾患	1		成長ホルモン分泌不全性低身長症	3
胃軸捻症	1		代謝性アシドーシス	1
胃食道逆流症	3		中枢性尿崩症	1
胃瘻後期合併症	1		低血糖	11
炎症性腸疾患	1		低身長症	9
過敏性腸症候群	1		副腎皮質機能低下症	1
回腸クローン病	9			
回腸炎	1		●呼吸器	1036
肝のう胞	1		R S ウイルス気管支炎・細気管支炎	226
肝機能障害	5		ヒトメタニューモウイルス細気管支炎	2
肝腫瘍	1		気管支炎、肺炎	784
急性胃粘膜病変	1		気道狭窄	1
急性胆管炎	3		気道出血	1
急性虫垂炎	32		急性呼吸窮迫症候群	1
急性腭炎	5		急性細気管支炎	3
血便	9		胸膜炎	1
鎖肛	1		喉頭軟化症	3
細菌性胃腸炎	37		縦隔気腫	1
十二指腸潰瘍	1		上気道閉塞症	1
小腸閉鎖	1		上葉無気肺	1

上腸間膜動脈症候群	3		睡眠時無呼吸症候群	6
新生児黄疸	93		低酸素血症	1
先天性結腸拡張症	1		膿胸	1
胆汁うっ滞性肝炎	1		慢性咳嗽	1
胆汁性嘔吐	5		無呼吸発作	1
胆道閉鎖症	1		喀血	1
虫垂炎性汎発性腹膜炎	2			
腸回転異常	1		●心臓・循環器	73
腸間膜リンパ節炎	1		Q T延長症候群	1
腸重積症	24		WPW症候群	1
潰瘍性大腸炎・全大腸炎型	7		ファロー四徴症	4
吐血	1		フォンタン術後症候群	1
肥厚性幽門狭窄症	5		異所性心房頻拍	3
便秘症	5		完全型房室中隔欠損症	2
無痛性胆石症	1		急性心不全	1
薬剤性肝機能障害	2		徐脈	1
嘔吐症	14		心室中隔欠損症	17
肛門周囲膿瘍	2		心室頻拍	1
			心房中隔欠損症	1
●腎臓・泌尿器	65		川崎病性冠動脈瘤	13
ネフローゼ症候群	4		僧帽弁逆流症	1
亀頭包皮炎	1		総肺静脈還流異常・部分肺静脈還流異常	3
急性腎盂腎炎	35		動脈管開存症	8
急性巣状細菌性腎炎	4		肺高血圧症	2
腎機能低下	1		肺動脈狭窄症	3
水腎症	7		肺動脈弁狭窄症	4
水腎水尿管症	3		不整脈	2
停留精巣	1		卵円孔開存症	4
慢性腎不全	1			
溶血性尿毒症症候群	1		●アレルギー・免疫	486
溶連菌感染後急性糸球体腎炎	3		I g A血管炎	19
膀胱炎	1		I g Gサブクラス欠損症	3
膀胱尿管逆流	3		アトピー性皮膚炎	1
			アナフィラキシー、蕁麻疹	83
●神経	312		アフタ性口内炎	1
MOG抗体関連疾患	9		クインケ浮腫	1
ウェスト症候群	2		気管支喘息、喘息発作	224

ギラン・バレー症候群	3		抗リン脂質抗体症候群	1
クラッペ病	1		高安動脈炎	2
スタージ・ウェーバ症候群	1		混合性結合組織病	1
てんかん	95		若年性特発性関節炎	3
ドラベ症候群	3		若年性皮膚筋炎	8
びまん性軸索損傷	1		食物アレルギー	57
下肢麻痺	1		川崎病	79
化膿性脳室炎	1		組織球性壊死性リンパ節炎	1
解離性痙攣	1		多形紅斑	1
滑脳症	1		低ガンマグロブリン血症	1
眼筋型重症筋無力症	1			
顔面神経麻痺	3		●救急・その他	199
起立性調節障害	7		V P シヤント機能不全	1
急性硬膜下血腫	3		おむつ皮膚炎	1
急性硬膜外血腫	1		カフェイン中毒	1
急性散在性脳脊髄炎	2		ダウン症候群	5
急性小脳性失調症	4		意識障害	3
急性脳炎、脳症	30		異物・薬物誤飲	10
巨大大槽	2		永久歯萌出不全	1
巨頭症	1		横紋筋融解	1
言語・運動発達遅滞	6		下肢短縮萎縮	1
腰仙部奇形	1		下肢痛	1
腰仙部皮膚洞	1		下腿筋膜炎	1
視神経炎	1		下腿脱力	1
視神経脊髄炎	1		歌舞伎症候群	1
自閉症スペクトラム障害	1		過換気症候群	3
小児もやもや病	1		外傷・熱傷	33
小頭症	1		感音難聴	6
心因性多飲症	1		関節炎	5
心因性尿崩症	1		関節痛	3
神経性嘔吐症	1		顔面蒼白	1
神経線維腫症 1 型	2		急性アルコール中毒	3
神経調節性失神	1		急性精神病	1
水頭症	2		急性薬物中毒	11
脊髄硬膜外血腫	1		頸部圧迫による窒息の疑い	1
先天性脳のう胞	1		頸部粉瘤、頸瘻	2
大脳白質病変	1		頸部痛、腰痛・腰背部痛	4

転換性障害	1		耳介後部腫瘍、腋窩腫瘍	3
頭囲拡大	2		失神	2
頭痛	6		弱視・色覚異常	2
乳児両側線条体壊死	1		術後の経過観察	4
熱性痙攣	56		小児肘内障	1
脳静脈血栓症	2		唇顎口蓋裂	1
脳軟化症	1		正中頸のう胞	2
福山型先天性筋ジストロフィー	1		先天性無歯症	1
傍シルビウス裂多小脳回	1		体重増加不全	9
本態性頭蓋内圧亢進症	1		大腿骨頭壊死	1
末梢性神経障害性疼痛	1		脱水症	4
慢性硬膜下血腫	2		溺水	1
無熱性痙攣	29		頭蓋骨異常	1
痙攣重積発作	11		頭部先天性皮膚欠損	1
			熱中症	2
			皮脂欠乏症	1
			不明熱	14
			腹痛症	4
			薬物依存、薬物乱用	6
			予防接種後発熱	8
			哺乳障害	30
NICU・GCU 入院患者（244 名）				
＜出生体重別＞				244
超低出生体重児（～999 g）				4
極低出生体重児（1000～1499 g）				13
低出生体重児（1500～2499 g）				75
出生体重 2500 g 以上				152
人工呼吸管理 20 例 nasal CPAP 31 例 新生児搬送 105 例				
呼吸器疾患	110		消化器・小児外科疾患	30
新生児一過性多呼吸	80		初期嘔吐	13
エアリーク	4		卵巣嚢腫	3
胎便吸引症候群	12		胃食道逆流症	2

呼吸窮迫症候群	9		小腸閉鎖	2
慢性肺疾患	3		胆汁性嘔吐(イレウスの疑い)	2
喉頭軟化症	1		鎖肛	2
Dry lung syndrome	1		Hirshsprung 病類縁疾患	1
			胎便性腹膜炎	1
循環器疾患	26		腹壁破裂	1
心室中隔欠損	8		急性胃粘膜病変	1
正期産児動脈管開存症	5		肥厚性幽門狭窄	1
新生児遷延性肺高血圧	5		胆汁うっ滞	1
不整脈	3			
肺動脈狭窄	3		内分泌代謝疾患	28
総肺静脈還流異常	1		一過性低血糖 (高インスリン血症を除く)	25
両大血管右室起始	1		新生児バセドウ病	2
			一過性高インスリン血症	1
感染症・免疫	15			
新生児感染症 (疑い症例を含む)	14		先天奇形症候群	10
新型コロナウイルス感染症(みなし陽性を含む)	1		21トリソミー	2
			18トリソミー	1
血液・腫瘍性疾患	4		歌舞伎症候群	1
遺伝性球状赤血球	1		メビウス症候群	1
G6P欠損症	1		ポーランド症候群	1
血小板減少	1		VATER 連合	1
一過性骨髓異常増殖症	1		第1第2 鰓弓症候群	1
			胎児水腫	1
神経疾患	31		先天性頭皮欠損	1
無呼吸発作	16			
軽症新生児仮死	8		その他	27
重症新生児仮死	3		哺乳障害	11
新生児発作	1		重症黄疸	7
薬物離脱症候群	1		帽状腱膜下出血	6
巨大大槽	1		胎児母体間輸血症候群	1
先天性多発関節拘縮	1		多発血管腫	1
			未熟児網膜症	1
計 4070 名小児入院患者数				
小児科入院患者 3743 名 (NICU 入院 244 名を含む) + 小児外科入院 327 名				

2024 年度疾患別入院患者数

総数 4070 名； 小児科 3743 名（NICU 244 名を含む） + 小児外科 327 名

●感染症	608
A 群 β 溶連菌感染症	13
COVID-19	27
EB ウイルス伝染性単核症	5
RS ウイルス感染症	8
アデノウイルス感染症	34
インフルエンザ	134
ウイルス性中毒疹	1
エンテロウイルス感染症	7
パラインフルエンザウイルス感染症	3
ヒトメタニューモウイルス感染症	3
ぶどう球菌性熱傷様皮膚症候群	1
ヘリコバクター・ピロリ感染症	1
ヘルパンギーナ、手足口病、突発性発疹	69
マイコプラズマ感染症	3
リウマチ熱	1
下顎部膿瘍、顎下腺膿瘍	2
下肢急性リンパ節炎	1
下腿リンパ管炎	1
急性上気道炎	72
急性咽頭炎、扁桃炎	85
急性化膿性リンパ節炎	5
急性化膿性耳下腺炎	4
急性中耳炎	26
急性副鼻腔炎	1
細菌感染症	4
胸部ヘルペス	1
頸部リンパ節炎	17
原発性ヘルペスウイルス性口内炎	1
無菌性髄膜炎	12
細菌性髄膜炎	4
歯性上顎洞炎	1
上腕骨骨髓炎	1

●NICU	244
超低出生体重児（～999 g）	4
極低出生体重児（1000～1499 g）	13
低出生体重児（1500～2499 g）	75
出生体重 2500g 以上	152

（詳細はNICU 入院患者に別掲）

●血液・腫瘍	99
T リンパ芽球性リンパ腫	1
ウイルス関連血球貪食症候群	1
鞍上部胚細胞腫瘍	4
一過性異常骨髄増殖症	1
肝腫瘍	1
血小板減少症	4
後天性赤芽球ろう	1
再生不良性貧血	2
歯肉出血	1
小児急性リンパ性白血病	12
神経芽腫	12
精巣腫瘍	1
前縦隔腫瘍	1
第4脳室上衣腫	6
胆のう腺筋腫症	1
鉄欠乏性貧血	2
特発性血小板減少性紫斑病	5
乳児血管腫	33
脳腫瘍	1
白血球減少症	1
汎血球減少症	1
皮下腫瘍	1
副腎腫瘍	1
毛様細胞性星細胞腫	1
卵巣のう腫茎捻転	3
卵巣腫瘍	1

侵襲性肺炎球菌感染症	1
水痘	1
帯状疱疹	2
中心静脈カテーテル感染症	2
伝染性膿痂疹	8
敗血症	13
百日咳	4
副鼻腔炎	4
蜂窩織炎	20
腋窩膿瘍	1
扁桃周囲膿瘍、咽後膿瘍	4

●消化器	524
アセトン血性嘔吐症・周期性嘔吐症候群	6
イレウス	4
ウイルス性胃腸炎	230
ヒルシュスプルング病類縁疾患	1
胃軸捻症	1
胃食道逆流症	3
胃瘻後期合併症	1
炎症性腸疾患	1
過敏性腸症候群	1
回腸クローン病	9
回腸炎	1
肝のう胞	1
肝機能障害	5
肝腫瘍	1
急性胃粘膜病変	1
急性胆管炎	3
急性虫垂炎	32
急性脾炎	5
血便	9
鎖肛	1
細菌性胃腸炎	37
十二指腸潰瘍	1
小腸閉鎖	1
上腸間膜動脈症候群	3

●内分泌・代謝	97
1型糖尿病	5
オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症	1
ケトン血性嘔吐症	31
ケトン性低血糖症	18
バセドウ病	1
ピルビン酸脱水素酵素複合体欠損症	1
ホモシスチン尿症3型	4
るいそう	1
下垂体機能低下症	2
原発性副甲状腺機能亢進症	1
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群	1
甲状腺機能低下症	3
高インスリン血症	1
高度肥満症	1
成長ホルモン分泌不全性低身長症	3
代謝性アシドーシス	1
中枢性尿崩症	1
低血糖	11
低身長症	9
副腎皮質機能低下症	1

●呼吸器	1036
R Sウイルス気管支炎・細気管支炎	226
ヒトメタニューモウイルス細気管支炎	2
気管支炎、肺炎	784
気道狭窄	1
気道出血	1
急性呼吸窮迫症候群	1
急性細気管支炎	3
胸膜炎	1
喉頭軟化症	3
縦隔気腫	1
上気道閉塞症	1
上葉無気肺	1
睡眠時無呼吸症候群	6

新生児黄疸	93
先天性結腸拡張症	1
胆汁うっ滞性肝炎	1
胆汁性嘔吐	5
胆道閉鎖症	1
虫垂炎性汎発性腹膜炎	2
腸回転異常	1
腸間膜リンパ節炎	1
腸重積症	24
潰瘍性大腸炎・全大腸炎型	7
吐血	1
肥厚性幽門狭窄症	5
便秘症	5
無痛性胆石症	1
薬剤性肝機能障害	2
嘔吐症	14
肛門周囲膿瘍	2

●腎臓・泌尿器	65
ネフローゼ症候群	4
亀頭包皮炎	1
急性腎盂腎炎	35
急性巣状細菌性腎炎	4
腎機能低下	1
水腎症	7
水腎水尿管症	3
停留精巣	1
慢性腎不全	1
溶血性尿毒症症候群	1
溶連菌感染後急性糸球体腎炎	3
膀胱炎	1
膀胱尿管逆流	3

●神経	312
MOG抗体関連疾患	9
ウェスト症候群	2
ギラン・バレー症候群	3

低酸素血症	1
膿胸	1
慢性咳嗽	1
無呼吸発作	1
喀血	1

●心臓・循環器	73
Q T延長症候群	1
WPW症候群	1
ファロー四徴症	4
フォンタン術後症候群	1
異所性心房頻拍	3
完全型房室中隔欠損症	2
急性心不全	1
徐脈	1
心室中隔欠損症	17
心室頻拍	1
心房中隔欠損症	1
川崎病性冠動脈瘤	13
僧帽弁逆流症	1
総肺静脈還流異常・部分肺静脈還流異常	3
動脈管開存症	8
肺高血圧症	2
肺動脈狭窄症	3
肺動脈弁狭窄症	4
不整脈	2
卵円孔開存症	4

●アレルギー・免疫	486
I g A血管炎	19
I g Gサブクラス欠損症	3
アトピー性皮膚炎	1
アナフィラキシー、蕁麻疹	83
アフタ性口内炎	1
クインケ浮腫	1
気管支喘息、喘息発作	224
抗リン脂質抗体症候群	1

クラッペ病	1
スタージ・ウェーバ症候群	1
てんかん	95
ドラベ症候群	3
びまん性軸索損傷	1
下肢麻痺	1
化膿性脳室炎	1
解離性痙攣	1
滑脳症	1
眼筋型重症筋無力症	1
顔面神経麻痺	3
起立性調節障害	7
急性硬膜下血腫	3
急性硬膜外血腫	1
急性散在性脳脊髄炎	2
急性小脳性失調症	4
急性脳炎、脳症	30
巨大大槽	2
巨頭症	1
言語・運動発達遅滞	6
腰仙部奇形	1
腰仙部皮膚洞	1
視神経炎	1
視神経脊髄炎	1
自閉症スペクトラム障害	1
小児もやもや病	1
小頭症	1
心因性多飲症	1
心因性尿崩症	1
神経性嘔吐症	1
神経線維腫症 1 型	2
神経調節性失神	1
水頭症	2
脊髄硬膜外血腫	1
先天性脳のう胞	1
大脳白質病変	1
転換性障害	1

高安動脈炎	2
混合性結合組織病	1
若年性特発性関節炎	3
若年性皮膚筋炎	8
食物アレルギー	57
川崎病	79
組織球性壊死性リンパ節炎	1
多形紅斑	1
低ガンマグロブリン血症	1

●救急・その他	199
V P シヤント機能不全	1
おむつ皮膚炎	1
カフェイン中毒	1
ダウン症候群	5
意識障害	3
異物・薬物誤飲	10
永久歯萌出不全	1
横紋筋融解	1
下肢短縮萎縮	1
下肢痛	1
下腿筋膜炎	1
下腿脱力	1
歌舞伎症候群	1
過換気症候群	3
外傷・熱傷	33
感音難聴	6
関節炎	5
関節痛	3
顔面蒼白	1
急性アルコール中毒	3
急性精神病	1
急性薬物中毒	11
頸部圧迫による窒息の疑い	1
頸部粉瘤、頸瘻	2
頸部痛、腰痛・腰背部痛	4
耳介後部腫瘍、腋窩腫瘍	3

頭囲拡大	2
頭痛	6
乳児両側線条体壊死	1
熱性痙攣	56
脳静脈血栓症	2
脳軟化症	1
福山型先天性筋ジストロフィー	1
傍シルビウス裂多小脳回	1
本態性頭蓋内圧亢進症	1
末梢性神経障害性疼痛	1
慢性硬膜下血腫	2
無熱性痙攣	29
痙攣重積発作	11

失神	2
弱視・色覚異常	2
術後の経過観察	4
小児肘内障	1
唇顎口蓋裂	1
正中頸のう胞	2
先天性無歯症	1
体重増加不全	9
大腿骨頭壊死	1
脱水症	4
溺水	1
頭蓋骨異常	1
頭部先天性皮膚欠損	1
熱中症	2
皮脂欠乏症	1
不明熱	14
腹痛症	4
薬物依存、薬物乱用	6
予防接種後発熱	8
哺乳障害	30

NICU・GCU 入院患者（244 名）

<出生体重別>				244
超低出生体重児（～999 g）				4
極低出生体重児（1000～1499 g）				13
低出生体重児（1500～2499 g）				75
出生体重 2500 g 以上				152

人工呼吸管理 20 例 nasal CPAP 31 例 新生児搬送 105 例

呼吸器疾患	110
新生児一過性多呼吸	80
エアリーク	4
胎便吸引症候群	12
呼吸窮迫症候群	9
慢性肺疾患	3
喉頭軟化症	1
Dry lung syndrome	1

消化器・小児外科疾患	30
初期嘔吐	13
卵巣嚢腫	3
胃食道逆流症	2
小腸閉鎖	2
胆汁性嘔吐（イレウスの疑い）	2
鎖肛	2
Hirschsprung 病類縁疾患	1
胎便性腹膜炎	1

循環器疾患	26
心室中隔欠損	8
正期産児動脈管開存症	5
新生児遷延性肺高血圧	5
不整脈	3
肺動脈狭窄	3
総肺静脈還流異常	1
両大血管右室起始	1

感染症・免疫	15
新生児感染症（疑い症例を含む）	14
新型コロナウイルス感染症（みなし陽性を含む）	1

血液・腫瘍性疾患	4
遺伝性球状赤血球	1
G6P欠損症	1
血小板減少	1
一過性骨髄異常増殖症	1

神経疾患	31
無呼吸発作	16
軽症新生児仮死	8
重症新生児仮死	3
新生児発作	1
薬物離脱症候群	1
巨大大槽	1
先天性多発関節拘縮	1

腹壁破裂	1
急性胃粘膜病変	1
肥厚性幽門狭窄	1
胆汁うっ滞	1

内分泌代謝疾患	28
一過性低血糖（高インスリン血症を除く）	25
新生児バセドウ病	2
一過性高インスリン血症	1

先天奇形症候群	10
21トリソミー	2
18トリソミー	1
歌舞伎症候群	1
メビウス症候群	1
ポーランド症候群	1
VATER 連合	1
第1第2鰓弓症候群	1
胎児水腫	1
先天性頭皮欠損	1

その他	27
哺乳障害	11
重症黄疸	7
帽状腱膜下出血	6
胎児母体間輸血症候群	1
多発血管腫	1
未熟児網膜症	1

計 4070 名小児入院患者数

小児科入院患者 3743 名（NICU 入院 244 名を含む）＋ 小児外科入院 327 名

(8) 主たる疾患別平均在院日数

急性喉頭炎、クループ	3.6 日
気管支炎、肺炎	5.2 日
R S ウイルス細気管支炎	4.6 日
インフルエンザ	4.1 日
喘息、喘息性気管支炎	4.6 日
急性胃腸炎	4.1 日
細菌性胃腸炎	5.3 日
腸重積症	3.8 日
腎盂腎炎	7.0 日
髄膜炎	15.4 日
敗血症	8.7 日
アレルギー性紫斑病	9.8 日
川崎病	14.0 日
脳炎、脳症	7.7 日
超低出生体重児	109 日
極低出生体重児	45.3 日